



古林 122

春雪霏々餘寒
猶未退を海

湖近履如河國家

の爲め飽まると自

愛寺禱を川生迄

耳を後院に方冬

受持之事おありん

手素筆新紙上朱

牙也後院の方也

受持之事おあり

正素御帳の上殊

所言音取禮上

俾多飛本月中

或好閑と得たり

やも難料候

之お得と活はり

才格の割り

時下事化探

之活打外

厚く保生所

望小話上

返事也有り

事中

時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...
時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...
時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...
時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...
時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...
時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...
時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...
時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...
時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...
時下... 之... 厚... 望... 返... 幸... 佳... 二月...

自林

大隈先生

首下